

大切なお知らせ！



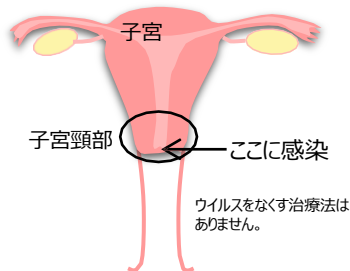
子宮頸がん予防ワクチン
(HPVワクチン)で、
いのちと女性の未来を守ろう！



1997-2007年度生まれの
女性は今だけ無料！

2025年3月31日までの期間限定。

1. 子宮頸がんを知ろう。



- ・ 性交で8割の女性がヒトパピローマウイルス(HPV)に感染。
- ・ 大多数は免疫力でウイルスを排除→しかし、何度でも感染。
- ・ 一部の人はウイルスが排除できず、感染から数年~10年ほどで子宮頸がんに至ります。
- ・ がんになる手前で見つけるのが「子宮がん検診」。症状がない初期のうちなら、子宮の「部分切除」で治すことができます。しかし「部分切除」後は、早産や不妊のリスクが高まります。
- ・ 最近、検診で見つかりにくいタイプのがん(子宮頸部腺がん)が増加。

だから
ワクチンが必要

2. 子宮頸がんを防ぐ。

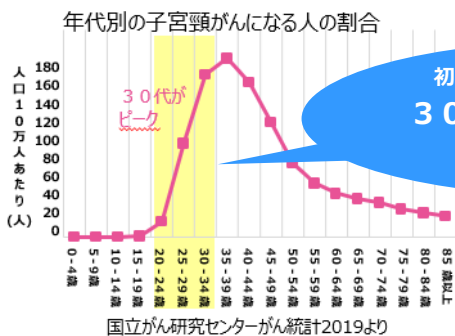
3回の接種で
HPVへの感染をブロック

HPVワクチン接種

- ・ 日本では対象年齢の女性に子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐワクチンの定期接種を実施しています。

ワクチンの違いって？

- ・ ワクチンは9価ワクチン(シルガード9)、4価ワクチン(ガーダシル)、2価ワクチン(サーバリックス)の3種類があります。2価ワクチンと4価ワクチンは、子宮頸がんの原因の50~70%を防ぎ、9価ワクチンは子宮頸がんの原因の80~90%を防ぎます。



初めて赤ちゃんを産む平均年齢である
30歳より前に子宮を失う女性
毎年約1,000人

子宮頸がん で亡くなる女性
300人に1人

生涯で子宮頸がんになる女性
76人に1人

3. 2024年9月30日までに1回目を打とう。

- ・ 最も高価な9価ワクチンを自費で接種する場合、1回あたり「約3万円+税」がかかります。
- ・ 接種に必要な期間は6か月。
つまり、9月30日までに1回目を打てば、3回目は3月30日となり、3回とも無料で接種ができます。

機会を逃し、自腹を切って3回打とうとする場合、
1回目接種が

2024年10月1日以降になったら

約3万円+税

2025年2月1日以降になったら

約6万円+税

2025年4月1日以降になったら

約9万円+税

最大
約10万円



まずは正しく
知ることから。

福岡県 子宮頸がん予防
HPVワクチン・子宮頸がん検診



【問合せ先】

みやま市役所 健康づくり課健康係
直通:0944-64-1515